

# 今、なぜエシカル消費を意識した 製造・販売を行う必要があるのか

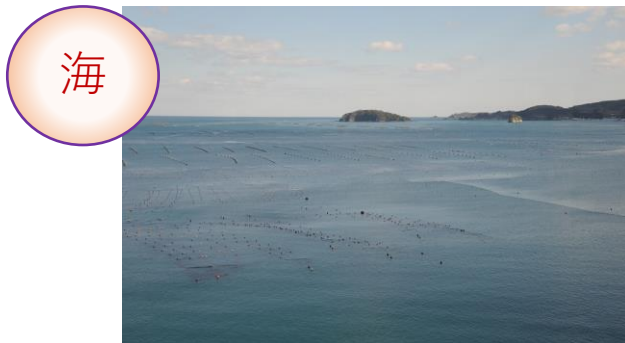
一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会  
代表理事 山口真奈美



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION

# 地球環境と私たちの関係

# 私たちの生活を支える恵みと人々



環境・社会的課題は？配慮されている？

どんなストーリーを持っているのでしょうか？

# 生きている地球レポート2022

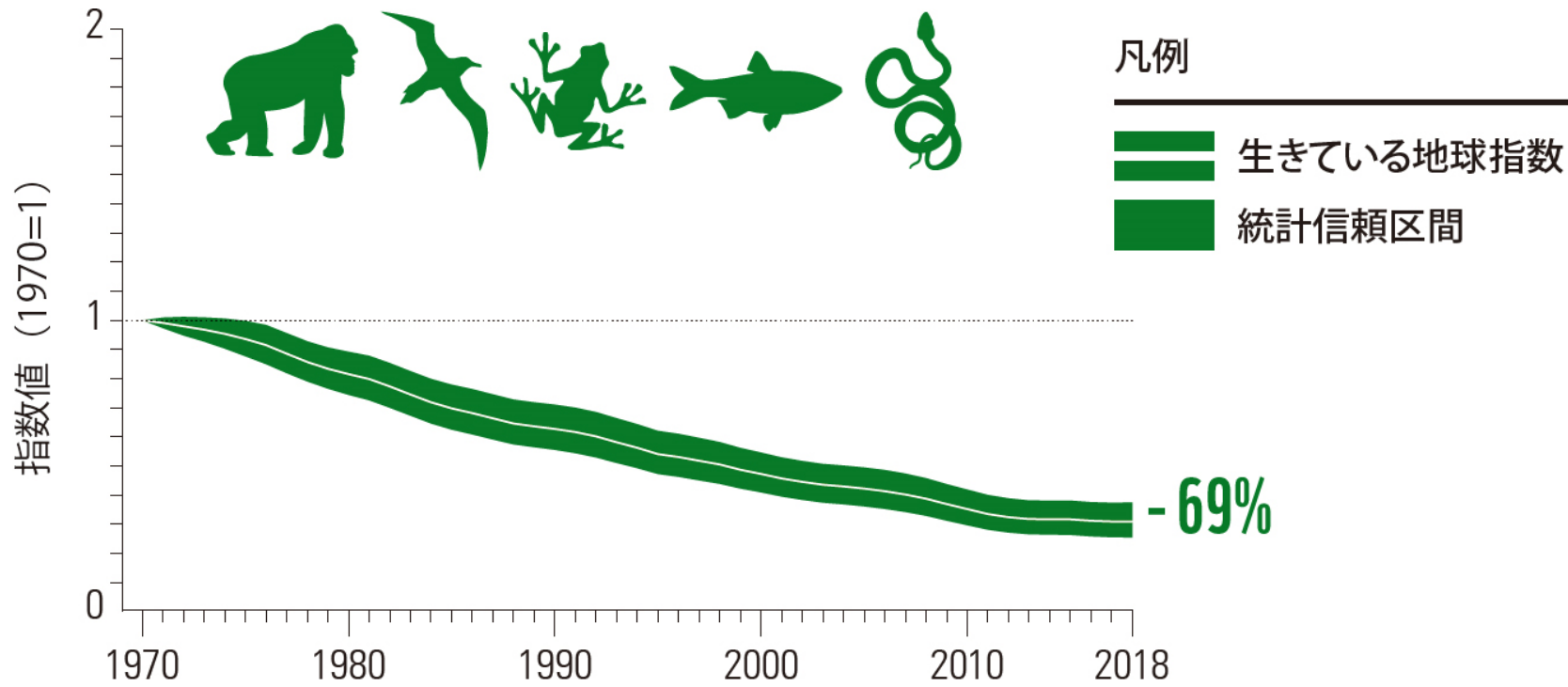


図2 生きている地球指数 (1970年～2018年) 出典：WWF/ZSL,2022<sup>3</sup>

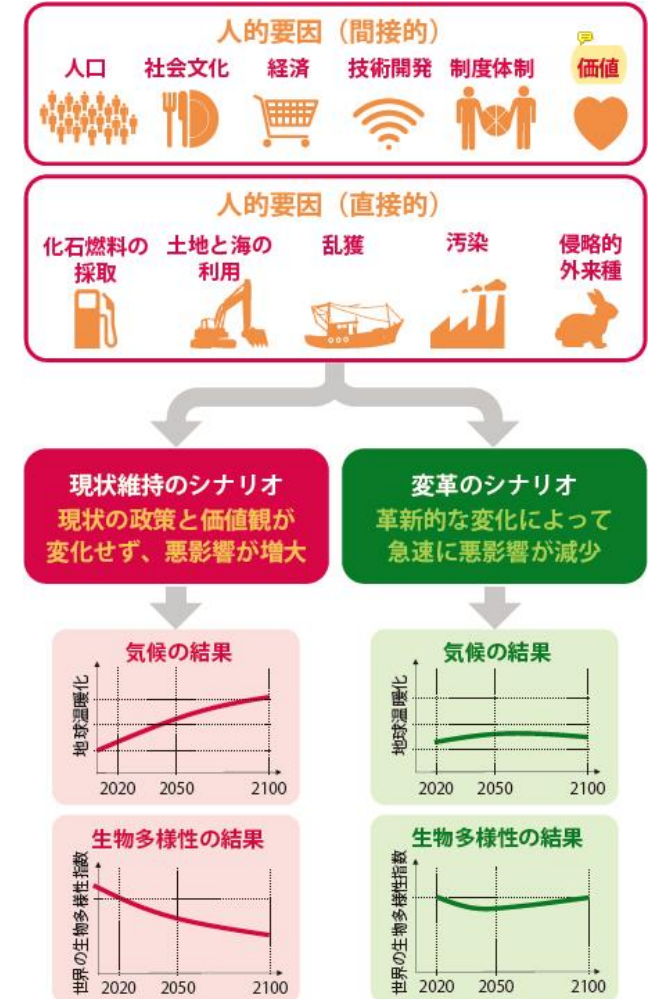
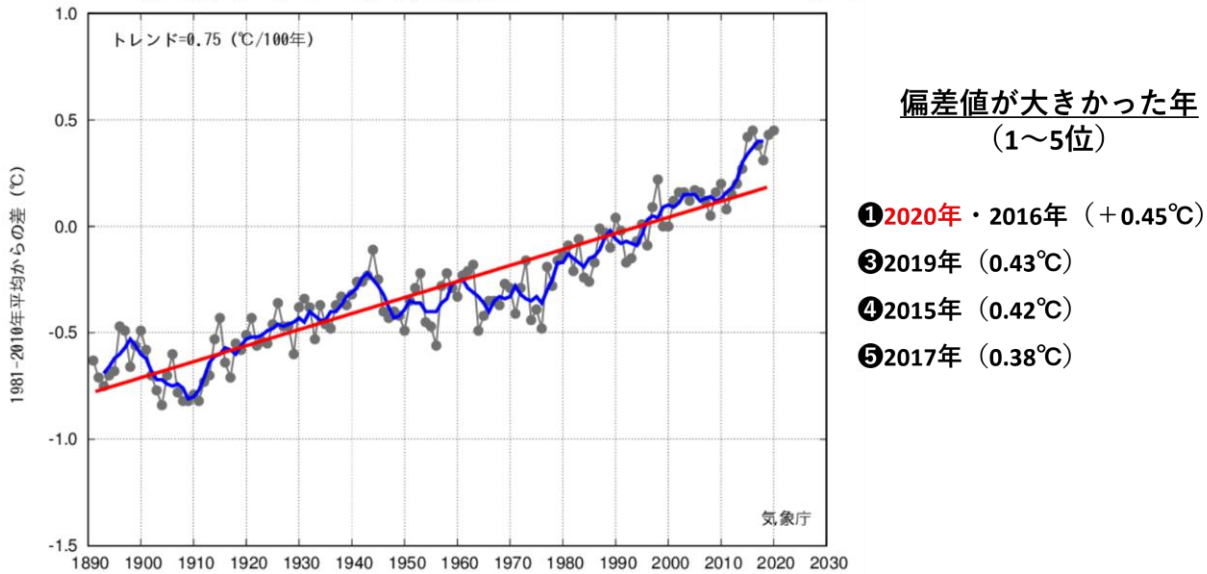


図6 岐路に立つ地球の気候と生物多様性と人間



## 2015年以降の平均気温の上昇傾向が顕著

＜世界の年平均気温偏差：1981～2010年平均気温との偏差＞

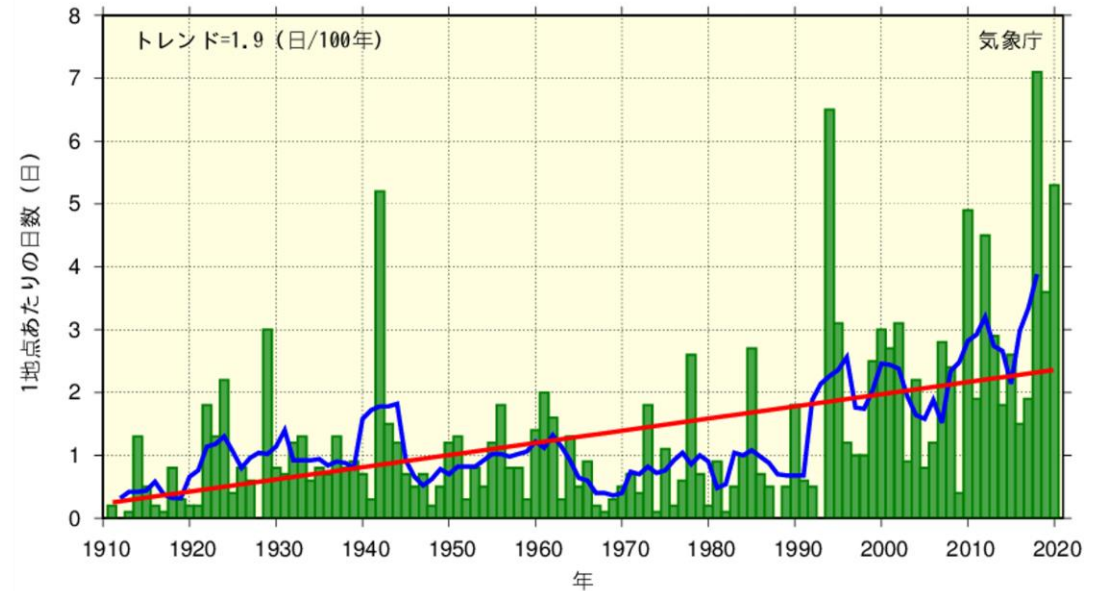


細線 (黒) : 各年の平均気温の基準値からの偏差、太線 (青) : 偏差の5年移動平均値、直線 (赤) : 長期変化傾向。  
基準値は1981～2010年の30年平均値。

出典: 気象庁HP 各種データ・資料「世界の年平均気温」

## 猛暑日 (最高気温が35°C以上の日) が増加

＜全国の猛暑日の年間日数の経年変化 (1910～2020年)＞



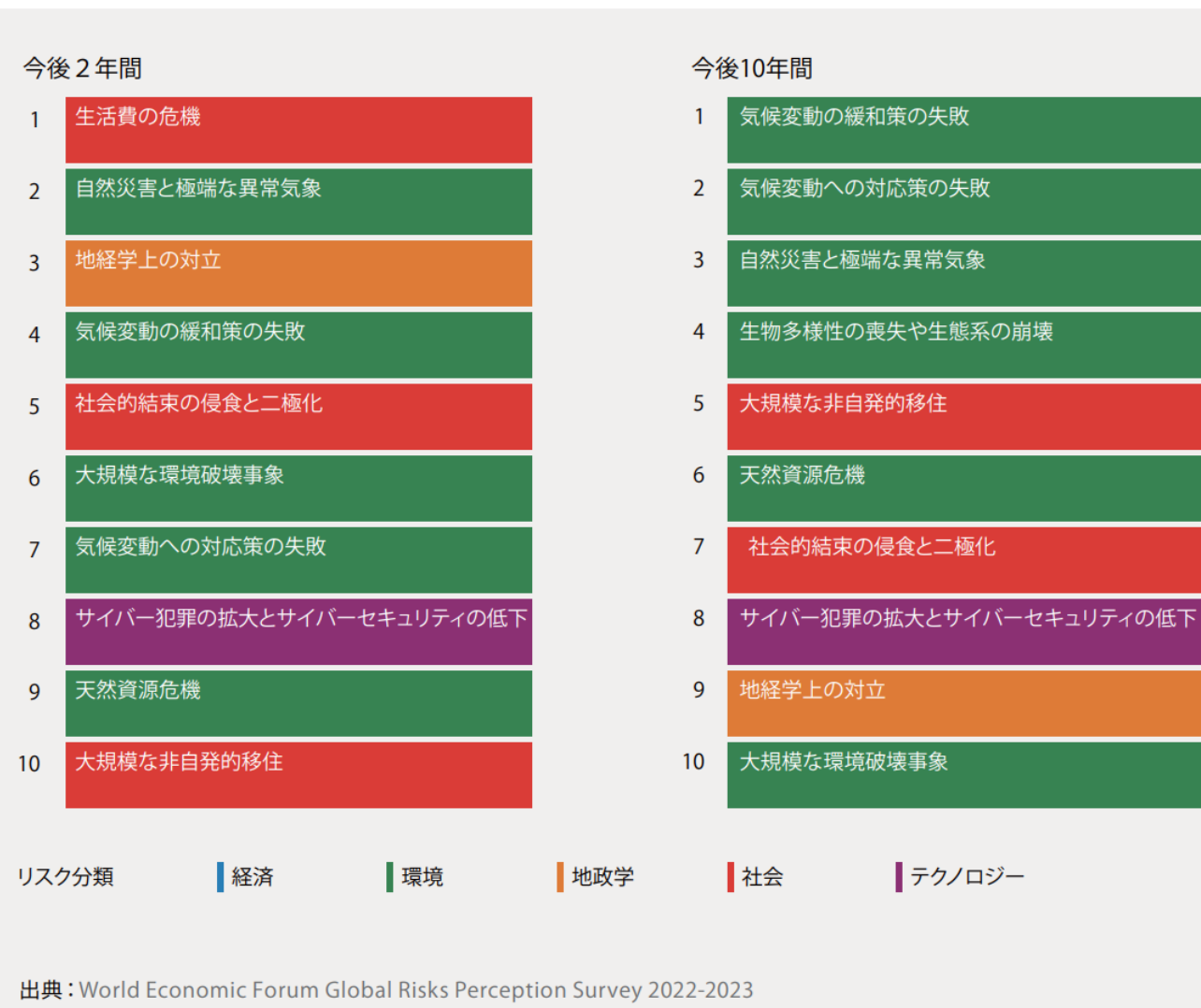
※棒グラフ (緑) は各年の年間日数を示す (全国13地点における平均で1地点あたりの値)。太線 (青) は5年移動平均値、直線 (赤) は長期変化傾向 (この期間の平均的な変化傾向) を示す。オレンジ色は毎年の値、緑色は5年移動平均値、赤色は長期に渡る変化傾向

出典: 気象庁ウェブサイト「大雨や猛暑日など (極端現象) の長期変化」

# グローバル リスク

## グローバルリスクの短期・長期的な重要度ランキング

「以下のリスクについて、2年後と10年後に起こりうる影響（深刻さ）を推定してください」

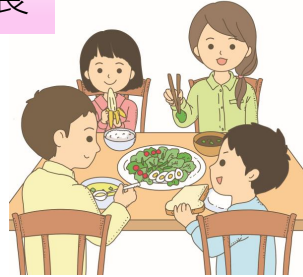


# 衣食住と様々な製品・アイテム

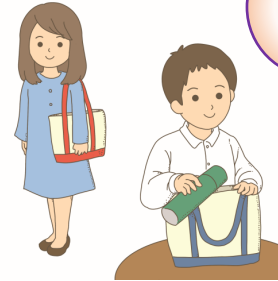
起床



朝食



着替え



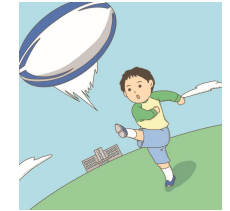
衣類

会社  
学校



日用品

休み時間



遊具

石鹸・  
化粧品  
繊維製  
品



食品



昼食

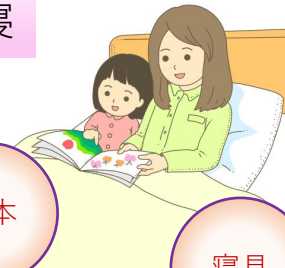
おやつ・  
茶



就寝

絵本

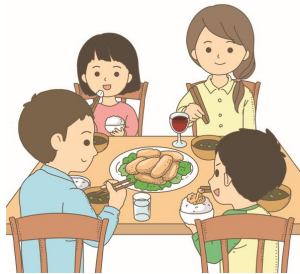
寝具



食器洗い・洗濯



夕食



入浴





JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION

# エシカル消費とは



## エシカル消費の 様々な配慮の視点

人

環境

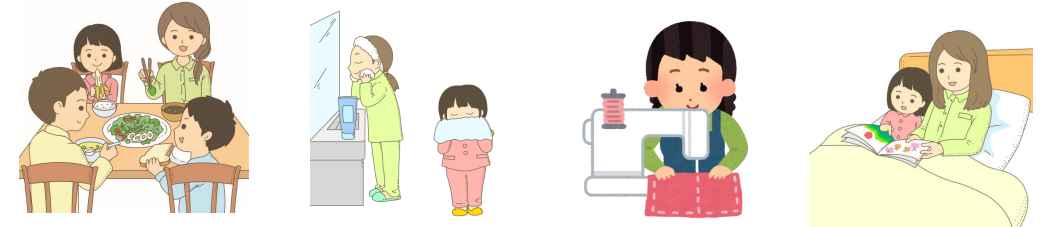
社会

地域

動物福祉

エシカル (ethical)  
「倫理的」「道徳上」  
という意味の形容詞

「人や地域、社会、環境に配慮した  
行動や考え方」  
エシカル消費とは、  
そのような配慮がなされた  
「モノやサービスを選んで消費すること」



人や地域、社会、環境などに配慮されたものを「選択」

エシカル消費 ⇒ サステナブル・ライフスタイル

## 未来を笑顔につなげる選択「エシカル消費」

### <エシカル消費とは>

エシカルとは「倫理的、道徳的」という意味の英語ですが、  
「人や地域、社会、環境に配慮した行動や考え方」

エシカル消費とは、  
そのような配慮がなされた「モノやサービスを選んで消費すること」

# 様々な配慮の視点

## 人への配慮

- 生産者が、劣悪な環境で強制的に働かされていないか
- 児童労働（子供たちが労働を強いられていないか）
- 十分な賃金が支払われているか

## 社会への配慮

- 適正な賃金を払い、社会問題を引き起こしていない商品
- フェアトレード製品
- 寄付付きの製品やサービスを選ぶ
- 障害者の方々が作った製品を買う  
(障害の有無に限らず、ユニバーサルな多様性のある社会)
- 社会的責任のある投資や金融の在り方を見直す

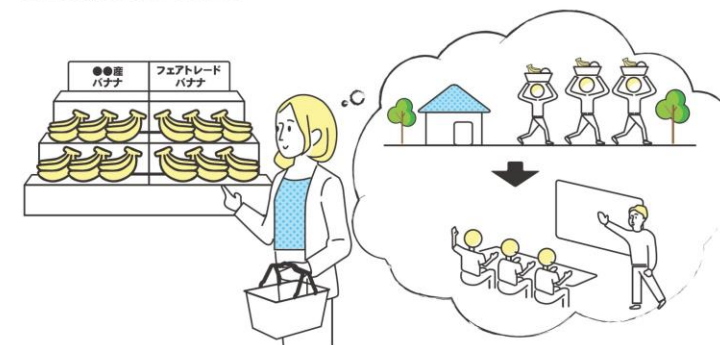
## 人・社会への配慮

おやつ時間に食べるチョコレートや、毎日身につける衣類の材料となるコットン(綿)など、私たちの身の周りには、原材料が作られ、加工され、私たちの手元に届くまでにたくさんの人が関わっています。原材料の多くを生産する発展途上国には、安い賃金で働いており十分に生活することができず、貧困に苦しむ人たちがいます。その中には、労働者として働き、学校に通えない子どもが多くいるのも事実です。

また、障がい者が働く施設では、日用品などが製作されていますが、まだ多くの皆さんに浸透しているとはいえません。そして、その結果として障がい者の多くが、安い工賃で働いているという実態があります。

商品やサービスの裏に隠されたストーリーに、思いを巡らせてみませんか？

人・社会に配慮された商品を見つけて、選んで購入することで、より多くの人が持続可能な生活を送れるようになります。



- ・フェアトレード認証商品
- ・売上金の一部が寄付につながる商品
- ・障がい者支援につながる商品を選択する など

# 様々な配慮の視点

## 環境への配慮

- 自然や環境、生態系にも配慮した製品
- リサイクルやリメイク、アップサイクルされたもの
- 再利用や修理しながら使うことも大切
- 有機や自然栽培の農産物
- 国産材利用
- 生物多様性に配慮した製品（認証ラベル付き製品など）
- 車や洋服などのシェアサービス  
（所有して捨てることを減らす）
- エコ・ビオホテル、サステナブルツーリズム
- 自然・再生可能エネルギーへの転換や活用
- 資源保護・生物多様性に関連する認証製品
  - ☆ FSC®認証（森林認証）
  - ☆ MSC・ASC認証（漁業・養殖）など

## 環境への配慮

「地球」というスケールで社会を考えると、私たちが多様な動植物と共存していることや多くのエネルギー資源、原材料、食料品などを海外から輸入していることに気付かされます。大量生産・大量消費・大量廃棄の暮らしによって、地球温暖化や海洋汚染などが発生し、生態系が破壊され、エネルギー資源が減少し、異常気象による農作物への被害などが深刻化しています。

日々の暮らしの中で、「もったいない」と思うことは何ですか？

地球環境の現状や問題を「自分には関係ない遠い話」と見過ごすのではなく、より良い未来に向かって、一歩を踏み出しましょう。



- ・エコ商品を選ぶ
- ・お買物のときにレジ袋の代わりにマイバッグを使う
- ・資源保護の認証がある商品やCO2(二酸化炭素)削減の工夫をしている商品を購入する
- ・マイボトルを利用する
- ・食品ロス\*を減らす \*まだ食べられるのに廃棄される食品のこと
- ・電球を省エネLEDに交換する
- ・地域のルールに沿ったゴミの分別を徹底する など

# 様々な配慮の視点

## 地域への配慮

- 地産地消（地域で作られたものを地域で消費する）
- 応援消費（被災地の商品を買うことで、その地域を応援する消費）
- 伝統工芸
- 地域の雇用促進
- 地元の商店街で買う（地域内で循環させながら、地域を元気に！）

## 動物福祉

- エコな代替素材への転換（ファッションで使われる毛皮やレザーの代わりなど・サステナブルファッション）
- 畜産での命の扱い、平飼い卵などを選ぶ
- 保護ペットの里親になる
- 動物の命への配慮も大切

他にも様々な視点があります

## 地域への配慮

遠方で生産・製造された食材や商品がインターネットを通じて、いつでもどこでも好きなだけ購入できるネットワークが私たちの生活の中に浸透しています。

一方、私たちの住む日本は、山、森、川、海といった豊かな自然に加え、多様な気候や地形の影響もあり、全国各地でその土地特有の産物が作られたり、様々な地域社会が育まれてきました。

「簡単」、「便利」に購入できることは魅力的ですが、「地域の振興」もお買物では大事な視点の一つです。

地元の本屋さん、電器屋さん、肉屋さんなどでお買物をしてみませんか？

地元の食材を「選ぶ」ことや地元のお店で商品を「買う」ことは、地元を「応援する」ことにつながります。



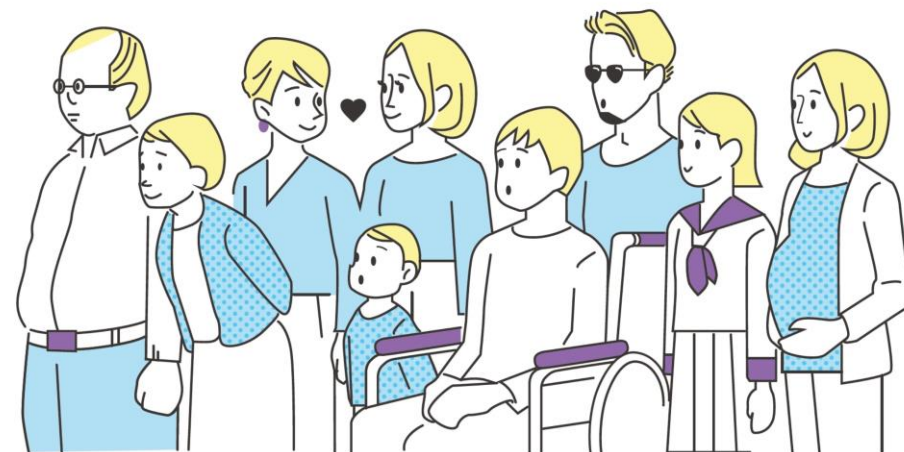
- ・地産地消
- ・被災地で作られたものを購入することで被災地を応援する
- ・伝統工芸品を購入する など



# みんなで支え合う社会へ

エシカル消費は「社会が豊かなときに、お金に余裕がある人が実践するもの」ではありません。

一人一人が、思いやりを持った消費行動を心掛けて、商品が届くまでの背景や廃棄された後の影響を考え、そこにある課題を知り、その解決につながるようなモノやサービスを利用することが、次の世代へバトンをつないでいく私たちの役割です。



消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、  
世界の未来を変えるために、今から行動しましょう！

## 消費と社会のつながり サステナビリティ経営とエシカル消費

- 買いだめ、買占めをしない
- 必要なものを必要な分だけ購入する
- 今のことだけを考えず、未来への影響を考える
- 海外で問題となっている社会的課題に目を向ける
- 自分のことだけを考えず、相手のことを考えて行動する
- ユニバーサルデザイン
- ダイバーシティ(多様性の尊重等) など



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION

# エシカル基準の視点と サステナブル経営

# 持続可能な開発の3つの側面

- 持続可能な開発は、将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズを充足する開発と定義
- 持続可能な開発を達成するためには、**経済成長**、**社会的包摂**、**環境保護**という3つの主要素を調和させることが不可欠



出典：国際連合広報局



# SDGs 持続可能な開発目標(17の目標 169のターゲット)

## 我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

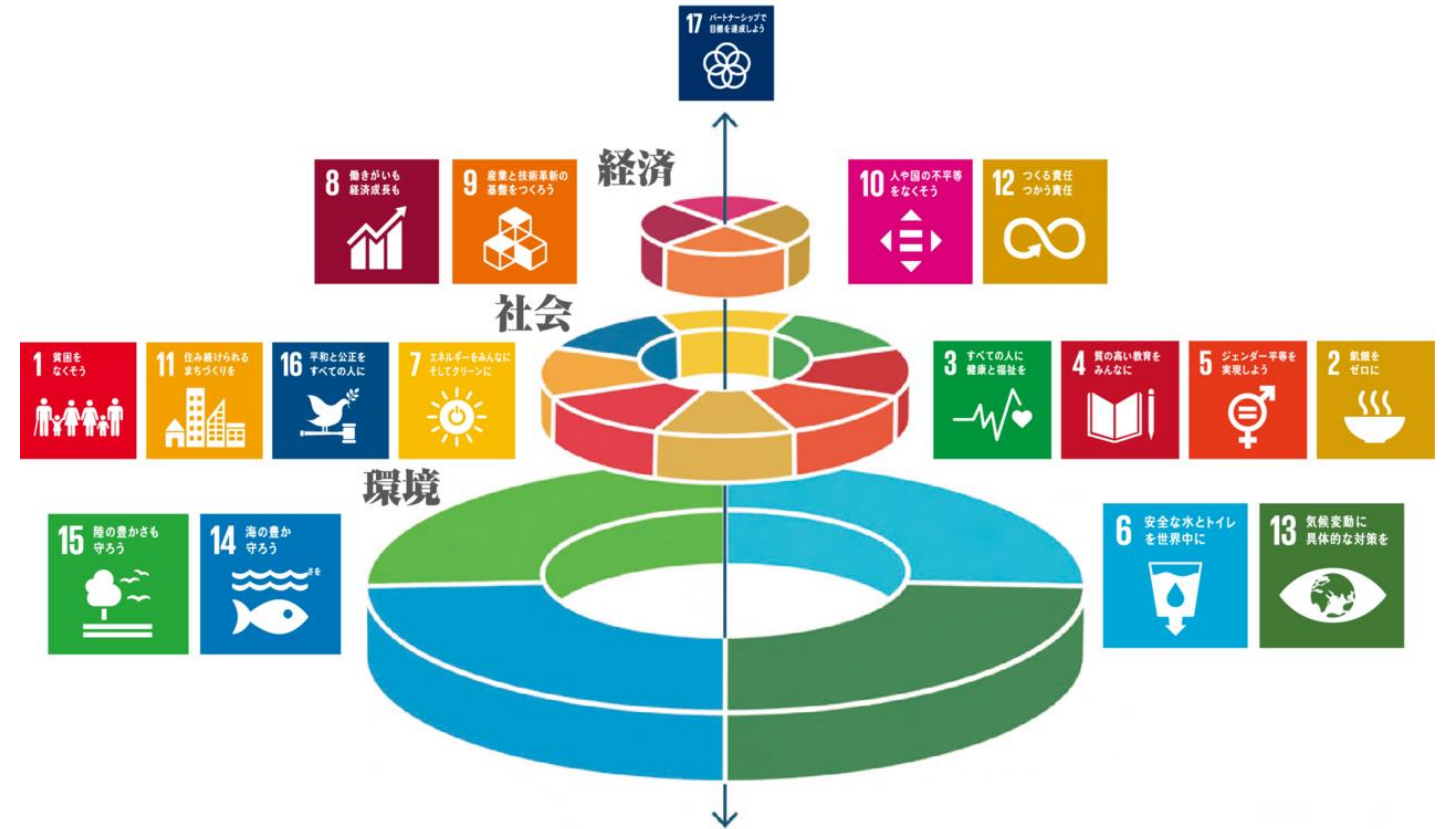
世界を変えるための17の目標



誰一人取り残さない  
No one will be left behind

# SDGsのもうひとつの捉え方 - 5つのP

## SDGs ウェディングケーキモデル



ヨハン・ロックストローム博士(レジリエンス研究所)考案

出典: 国際連合広報局



# 12. つくる責任、つかう責任

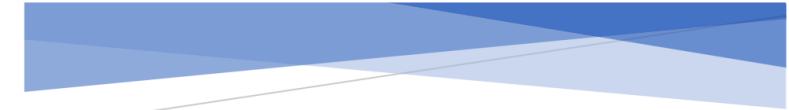
## 目標12: 持続可能な消費と生産のパターンを確保する



出典: 国際連合広報局

## <大項目>

1. 自然環境を守っている (7)
2. 人権を尊重している (5)
3. 消費者を尊重している (4)
4. 動物の福祉・権利を守っている (6)
5. 製品・サービスの情報開示をしている (5)
6. 事業を行っている地域社会に  
配慮・貢献している (5)
7. 適正な経営を行っている (7)
8. サプライヤーやステークホルダーと  
積極的に協働している (4)



## JEI エシカル基準

2021年10月

一般社団法人 日本エシカル推進協議会（JEI）



# JEIエシカル基準の6レベル

点数	レベル	基準の内容
100	S	世界的に見て最先端のレベル（誰もがここを目指すというよりは参考として示してあります）
80	A+	国際的に高く評価されるレベルの目標を掲げ、その達成に向けて十分な活動が出来ている
60	A	方針や目標を明示し、それに従って行動し <u>成果を出している</u>
40	B	部分的にだが行動している
20	C	準備を進めている
0	D	未着手である
-	N.A.	該当しない（その理由を述べてください）

大企業の場合

ここを目指す

- ※ そのレベルに達していることを示すエビデンス（裏付け情報）が必要
- ※ 上のレベルに行くには、その下のレベルがすべてできていることが前提



# サステナブル経営、持続可能な責任ある調達とサプライチェーン

森



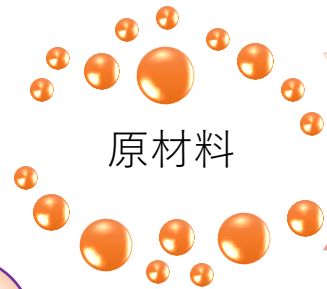
人



農



衣食住



原材料



調達物流



流通・製造



加工



小売・販売



リサイクル  
ル・廃  
棄

海



工場・製造拠点の  
ある地域

原材料調達・加工流通過程における  
環境・社会的課題と配慮

環境

人権・  
労働

安全  
衛生

倫理

マネジ  
メントシ  
ステム

情報セ  
キュリ  
ティ

etc...

**TCFD** (Task Force on Climate-related Financial Disclosures :  
気候関連財務情報開示タスクフォース)  
企業の気候変動への取組みや影響に関する財務情報についての開示のための枠組み

生物多様性版

**TNFD** (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures :  
自然関連財務情報開示タスクフォース)

「国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB)」 (IFRS財団)

社会課題に関連する開示の枠組みの開発⇒タスクフォースの統合  
不平等関連財務情報開示タスクフォース (TIFD)  
社会関連財務情報開示タスクフォース (TSFD)  
設立準備組織 両タスクフォースの統合化へ

サステナビリティに関する情報開示が求められる時代に



EU「企業持続可能性デュー・ディリジェンス指令案」  
人権及び環境に関するデュー・ディリジェンスを義務化する指令案を公表。

EUDR (EU DEFORESTATION REGULATION :  
EU森林減少フリー製品に関する規則)

「グリーン・クレーム (Green Claim) 指令案 (GCD) 」  
欧州理事会  
一般的な環境主張の禁止を含む  
グリーンウォッシングから消費者を保護することを目的として、  
企業に環境主張およびラベルの立証と検証を求める新しい規則案に関する交渉姿勢を採択。

**経済開発協力機構(OECD)「OECD多国籍企業行動指針」**

**国連「ビジネスと人権に関する指導原則」**

**企業行動による悪影響を特定・防止・軽減する手段としてデュー・ディリジェンス(DD)が進む**

コミュニケーション持続可能な製品を標準

“Communication on making sustainable products the norm”

<持続可能な製品のためのエコデザイン規則案>  
耐久性、再利用可能性、改良・修理可能性、  
エネルギー効率性等の基本要件及び消費者のための  
情報開示を義務づけ。 繊維：優先分野の1つ

<持続可能な循環型繊維戦略>

2030年までに域内販売繊維製品について

耐久性、リサイクル可能、リサイクル繊維活用、  
危険物質を含まない、労働者の権利等の社会権や  
環境に配慮したものにするという目標

- ①デザイン要件の設定、②情報提供の強化、
- ③過剰生産・過剰消費の廃止、
- ④未使用繊維製品の廃棄の廃止等の対策を提言。

## 原材料からサプライチェーン 人権、環境への対応が世界的にも急務

日本政府：経済産業省

**責任あるサプライチェーン等における**

☆**人権尊重のためのガイドライン**（令和4年9月）

☆**実務参照資料**（令和5年4月）

**を公表**

環境省

**環境デュー・ディリジェンスに関するハンドブックを公表**

（令和5年5月）

サステナブル経営



単なる社会貢献・イメージ戦略ではない

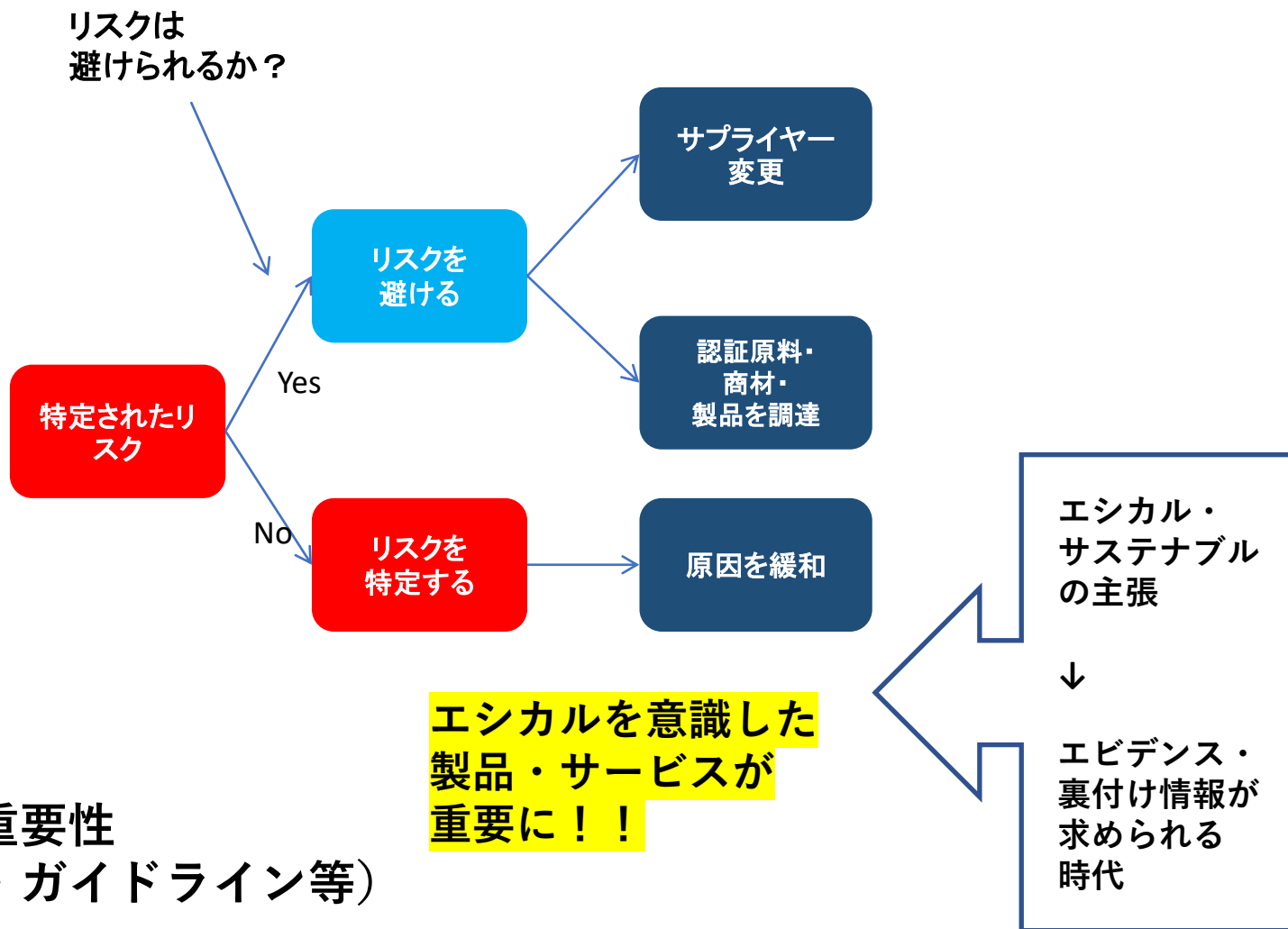
地球環境や社会情勢の変化で、  
原料となる資源が  
調達できなくなってしまうら・・・

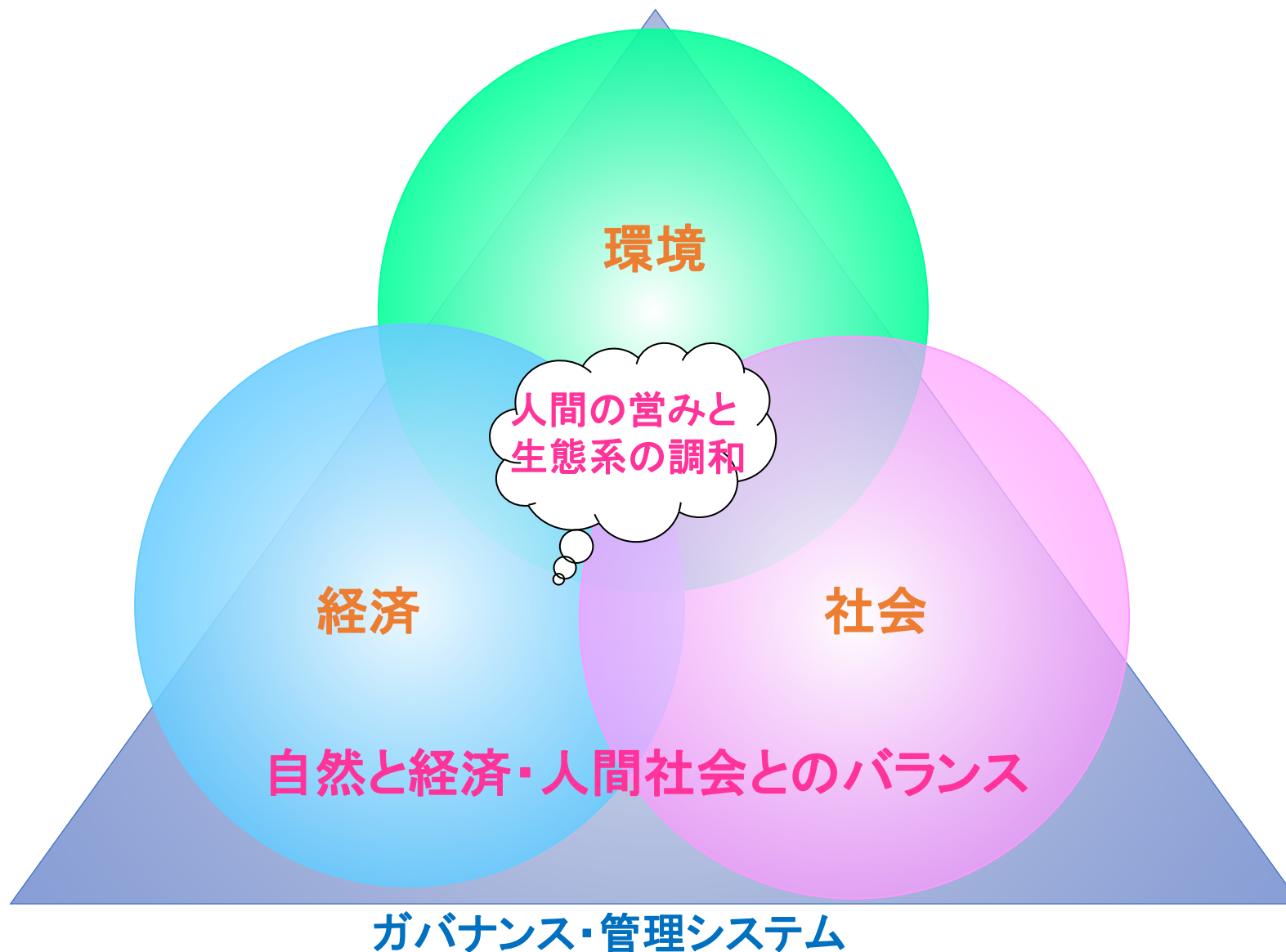
今のビジネスモデル・

商品ラインで持続的に経営が可能か？

- ※マテリアリティ（重要課題）の特定
- ※サステナブル経営方針
- ※サステナブル調達方針

サステナブルなモノづくり・サービスの重要性  
(持続可能な責任ある調達の方針・基準・ガイドライン等)



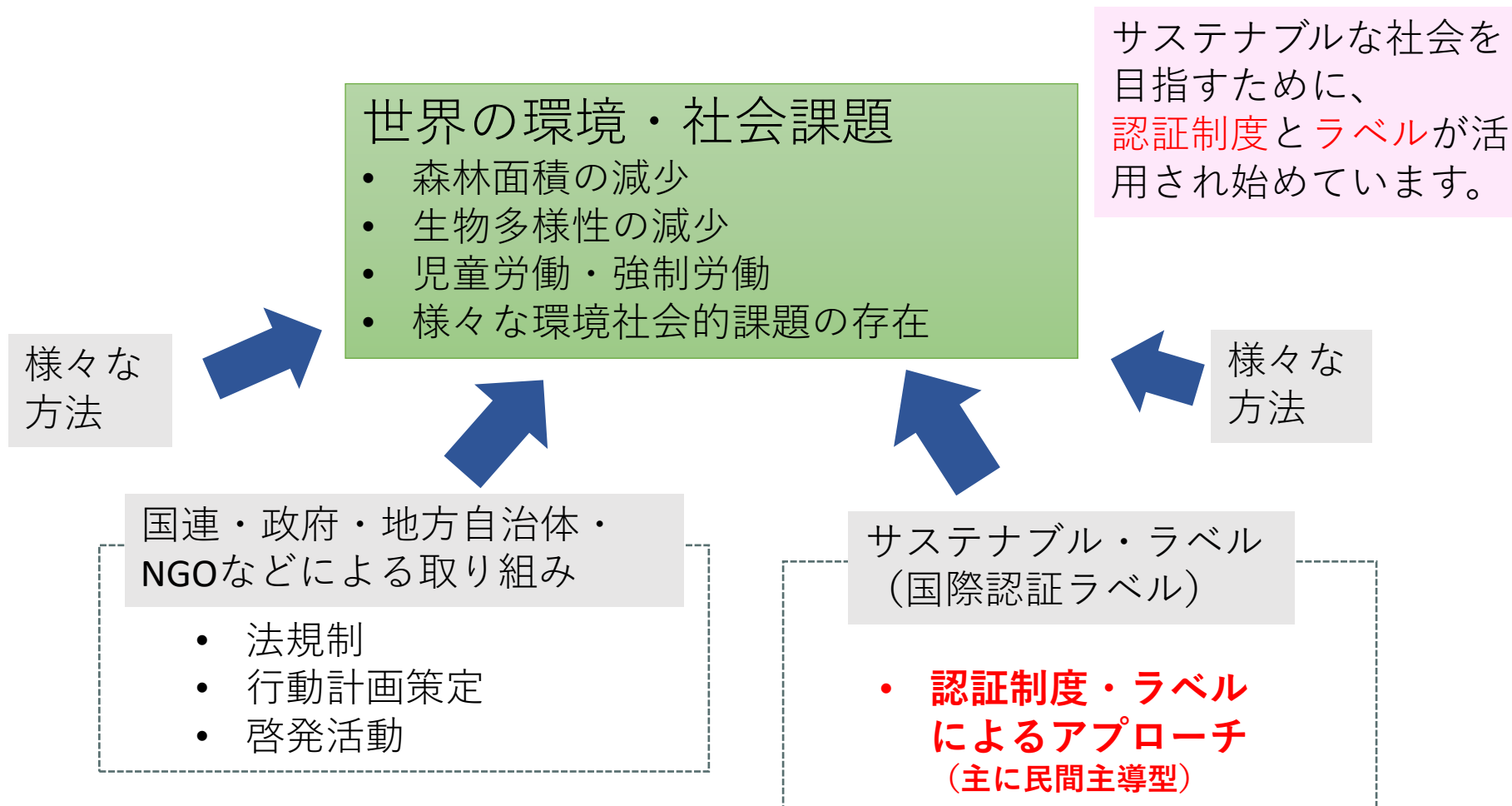




# 衣食住を支える製造・販売 とエシカル (サステナブル・ラベルの事例に)



# サステナブルな社会を目指すには



# さまざまなサステナブル・ラベル



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION



FSC® 「責任ある森林管理のマーク」  
(FSC label)



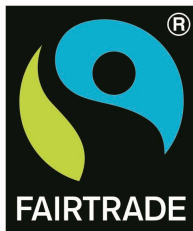
レインフォレスト・アライアンス  
認証マーク (Rainforest Alliance  
Certified seal)



OCS  
(Organic Content Standard)



MSC 「海のエコラベル」  
(MSC ecolabel)



国際フェアトレード認証ラベル  
(FAIRTRADE Mark)



GOTS: オーガニックテキスタイル  
世界基準  
(Global Organic Textile Standard)



ASC 水産養殖管理協議会  
(Aquaculture Stewardship  
Council)



有機JAS  
(Organic JAS Logo)



RSPO: 持続可能なパーム油の  
ための円卓会議(Roundtable on  
Sustainable Palm Oil)

## サステナブル・ラベル

（持続可能な原材料調達や環境・社会的配慮につながる**国際認証ラベル**）



認められた審査員が、現地へ生産者・事業者を訪問



各々の認証ラベルが定める基準に合っているかを、  
第3者が確認（Check）する仕組み



# 環境とエシカル消費のストーリー



持続可能な責任ある調達

トレーサビリティとストーリー



加工流通過程での環境・社会的配慮



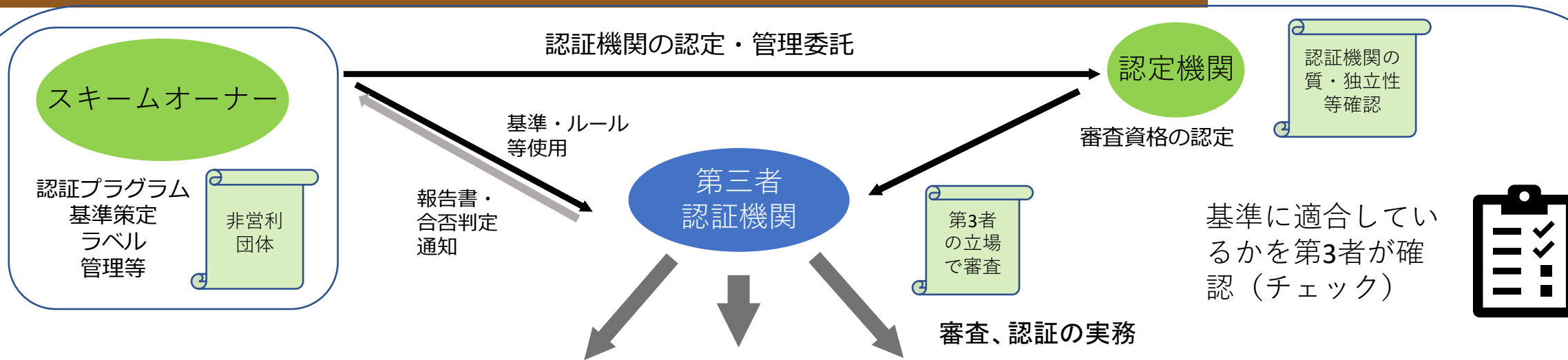
資源の適切な循環

サステナブル製品・サービス 認証ラベル製品等

エシカル消費  
サステナブル・ライフスタイル



# サステナブル・ラベル（国際認証ラベル）の仕組み



# 繊維製品と生産地での課題

食料保障

健康被害

土壌の風化劣化

水不足、

水質汚染

借金問題

地球温暖化

種、生物多様性の損失



労働者の賃金

貧困

労働条件・労働環境

水汚染

健康被害

児童労働



有機食品のJAS規格に適合した生産が行われていることを登録認証機関が検査し、その結果、認証された事業者のみが有機JASマークを貼ることができます。

この「有機JASマーク」がない農産物と農産物加工食品に、「有機」、「オーガニック」などの名称の表示や、これと紛らわしい表示を付すことはJAS法で禁止されています。

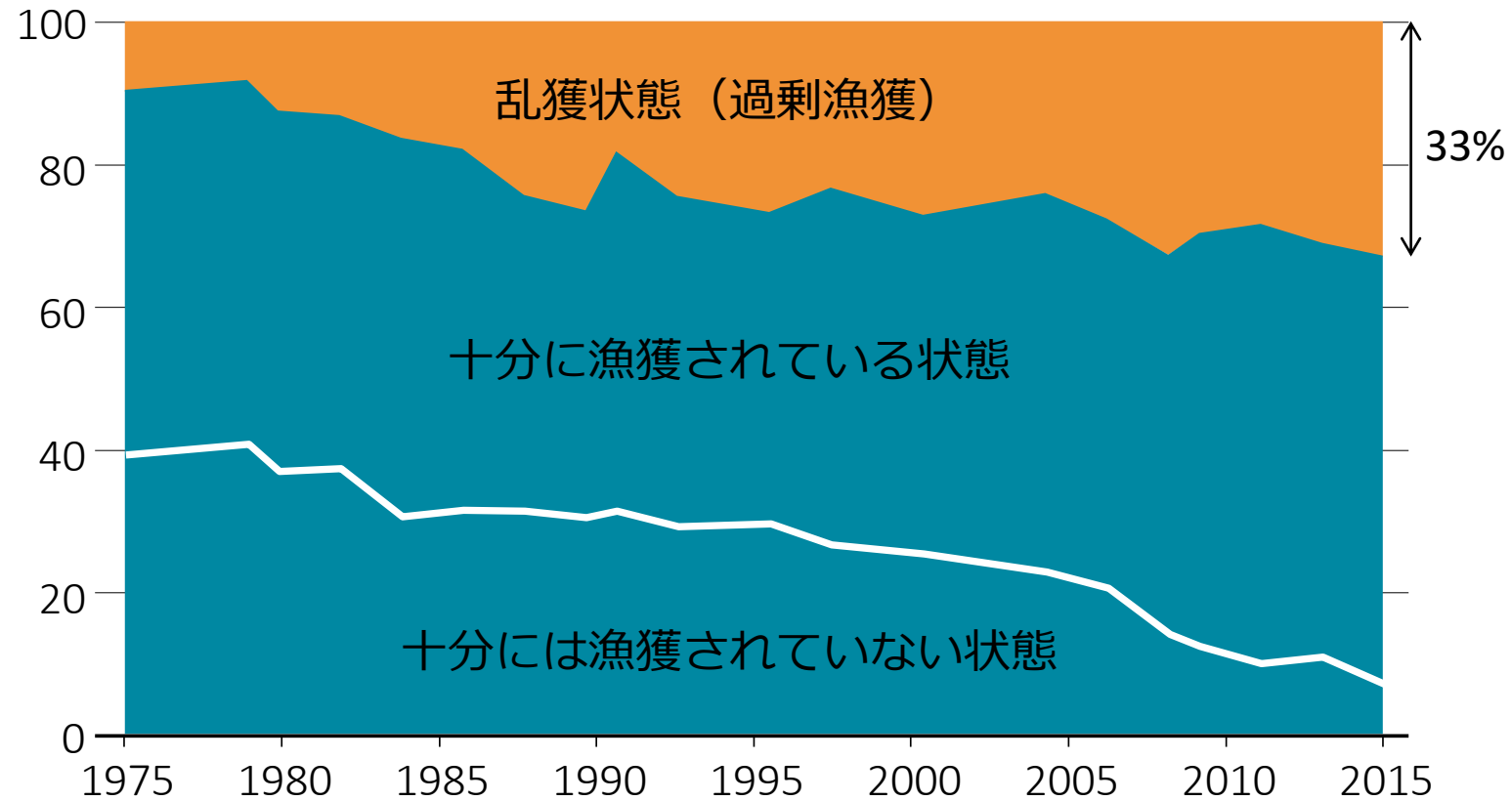
## 有機JASマーク



## EU 有機農業規則

(EC) No.834/2007 and (EC) No.889/2008

EU有機農業規則(通称)は、オーガニック生産や取扱いのための生産基準及び認証制度で、EC理事会規則No.834/2007(有機生産と有機製品のラベル)と889/2008(実施規則)並びにそれらの修正事項により定められています。基準は欧州連合加盟国で施行されているだけでなく、欧州連合以外の国からオーガニック生産物を輸入するための制度も設けられています。化学合成殺虫剤や化学肥料の使用は厳しく制限されており、栽培地で3年以上(多年生植物の場合)禁止資材を使用していない、遺伝子組み換え技術の使用禁止が求められます。ロゴマークはオーガニック原料を95%以上含む製品に使用できます。



世界の水産資源のおよそ3分の1は乱獲状態である

FAO Fisheries and Aquaculture Department (2018) The State of World Fisheries and Aquaculture 2018



# 水産物 (MSC・ASC)

漁業：MSC (Marine Stewardship Council)  
養殖：ASC (Aquaculture Stewardship Council)

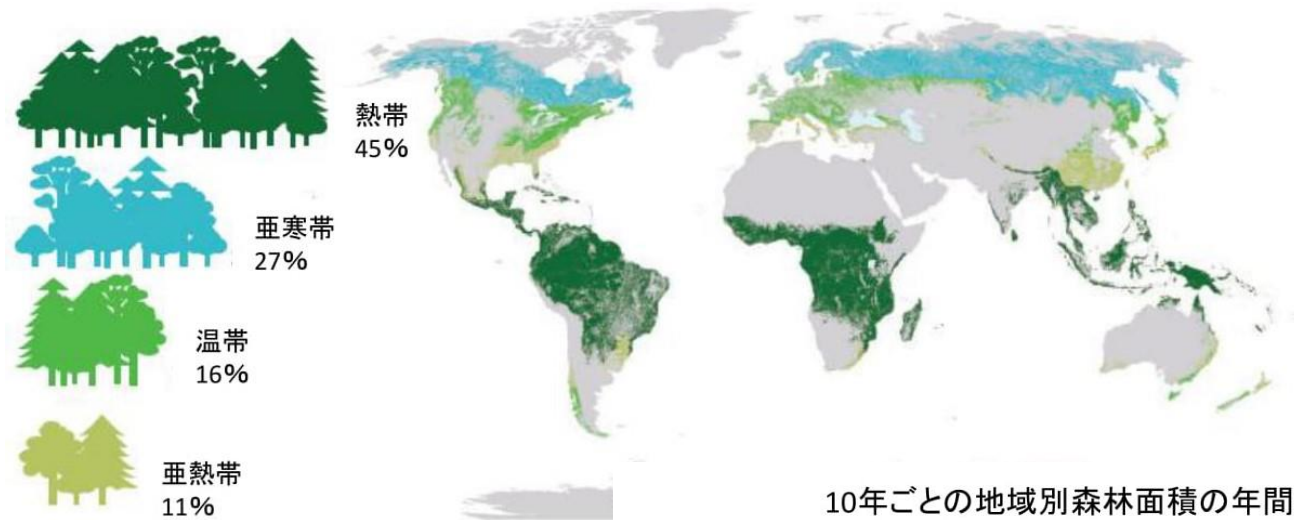


Marine Stewardship Council  
(MSC)

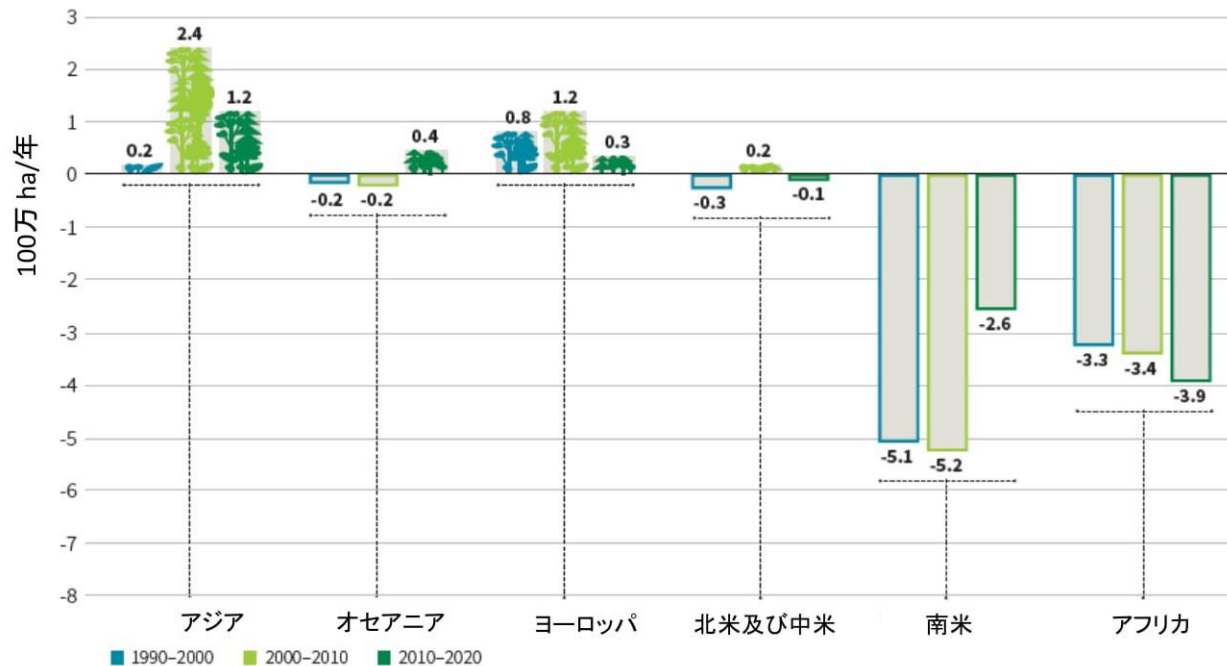


Aquaculture Stewardship Council  
(ASC)

# 気候帯別の森林面積の割合と分布(2020年)



10年ごとの地域別森林面積の年間純変化(1990年~2020年)



森の減少  
様々な動植物が  
絶滅の危機に・・・

森を伐りすぎていない？

FAO. 2020. Global Forest Resources Assessment 2020 – Key findings. Rome.

# 森林：FSC（森林管理協議会）



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION

1994年～ < 認証対象品目 >  
紙製品（ノート、トイレットペーパー、ティッシュ等）、  
木製品（建材、家具等）



1. 法令順守
2. 労働者の権利と安全
3. 先住民族の権利の尊重
4. 地域社会との連携
5. 森林の便益の適切利用
6. 自然環境の保全
7. 適切な管理計画
8. 管理の評価と見直し
9. HCVの保護
10. 管理活動の適切な実施



Forest Stewardship Council®  
(FSC®)

FSC認証は、適切に管理された森林と、その森林に由来する製品に与えられる認証です。

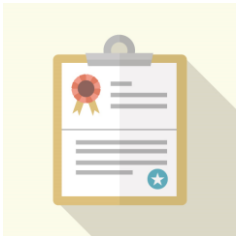
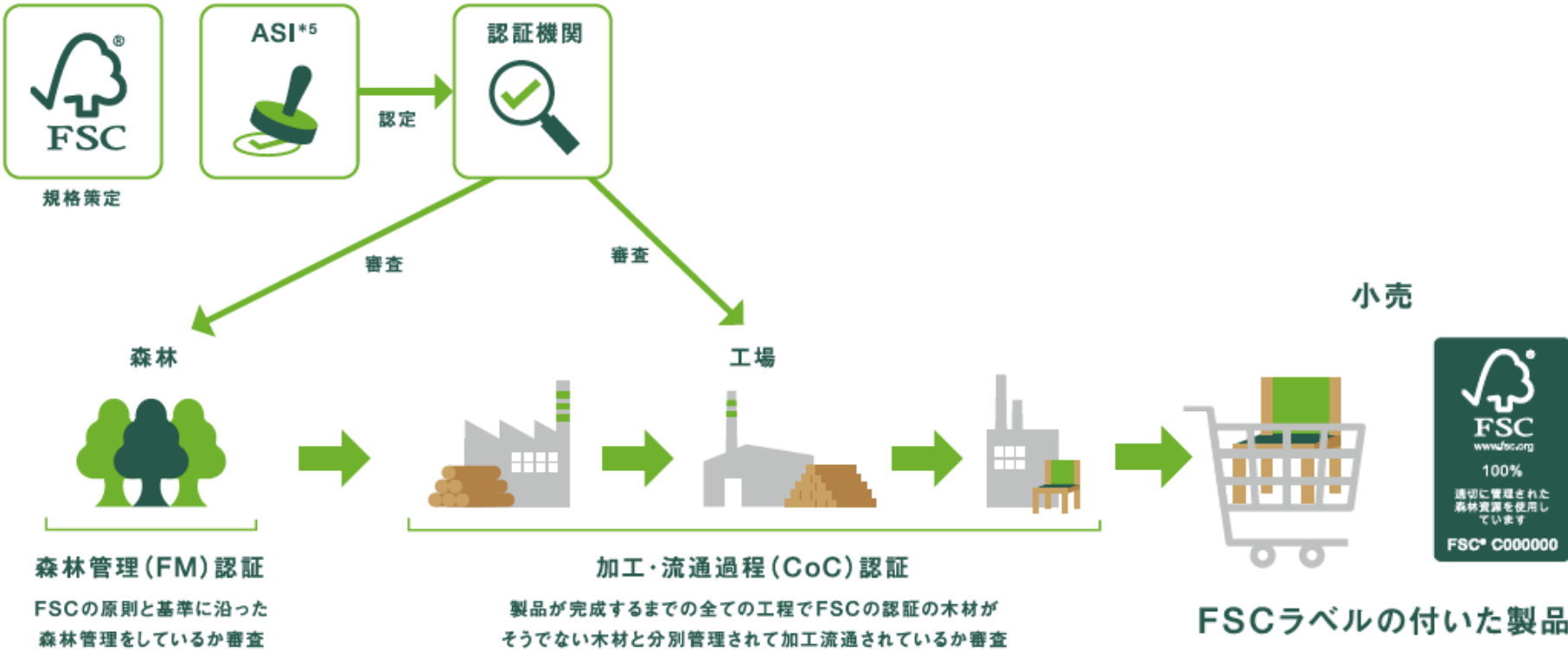
FSC認証にはFM認証とCoC認証の2種類があります。FM認証はFSC森林管理基準の規定を満たす森林管理者に与えられる認証です。CoC認証はFM認証を受けた森林から切り出された、木材由来の製品の流通や加工のプロセスを認証します。

森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にかなう、経済的にも継続可能な形で生産された木材を使った製品にFSCマークが付けられます。このマークが入った製品を買うことで森林保全を応援できるシステムです。

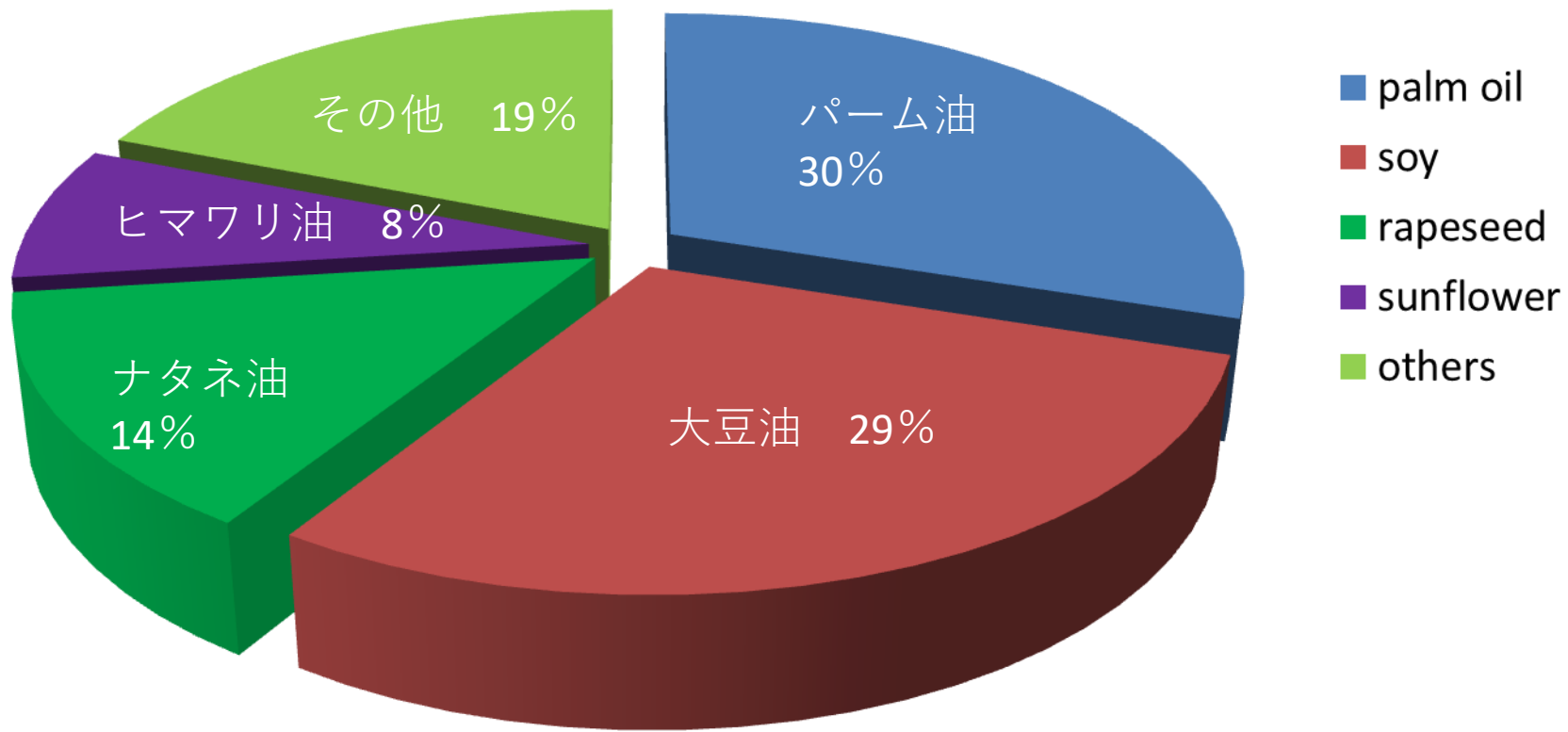


# 森林：FSC®(Forest Stewardship Council®) 森林管理協議会

## FSC認証の製品が消費者の手に届くまで



# パーム油は世界で最も多く生産される植物油





## 1. 透明性の担保

（透明性へのコミットメント）

## 2. 法令遵守

（適用法令と規則の遵守）

## 3. 長期的な実行可能性

（長期的な経済・財政面における実行可能性へのコミットメント）

## 4. ベストプラクティスの採用

（生産及び搾油・加工時における  
ベストプラクティス（最善の手法）の採用）

## 5. 環境・資源・生物多様性の保全

（環境に対する責任と資源及び生物多様性の保全）

## 6. 従業員・地域住民への配慮

（農園、工場の従業員及び、影響を受ける地域住民への責任ある配慮）

## 7. 責任ある開発

（新規プランテーションにおける責任ある開発）

## 8. 継続的改善

（主要活動分野における継続的改善へのコミットメント）



## Roundtable on Sustainable Palm Oil (RSPO)

RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）は、WWF（世界自然保護基金）やパーム油生産者および小売業者などを含むパーム油産業に関係する団体が中心となり設立された非営利団体です。

RSPOは国際的な認証基準を策定することで、パーム油の生産が熱帯雨林やそこに棲息する生物の多様性、森林に依存する人々の生活に深刻な悪影響を及ぼすことのないようにすることを目指しています。このマークが付けられた製品はRSPOの認証基準を満たした持続可能なパーム由来原料を使用した、あるいはその生産に貢献した製品であることを示しています。

< 認証対象品目 >  
洗剤、石鹼、  
トイレタリー製品、  
化粧品、食品、  
食用油等

## Fairtrade

公正・適正な価格で取引すること

### 通常の貿易

- 市場価格の情報や販売先の選択肢の欠如により、末端の小規模生産者は、安く買い叩かれてしまう



### 引き起こされる問題

- 生産者の生活水準低下
- コスト削減を目的とした児童労働
- 過剰な農薬による環境破壊・健康被害

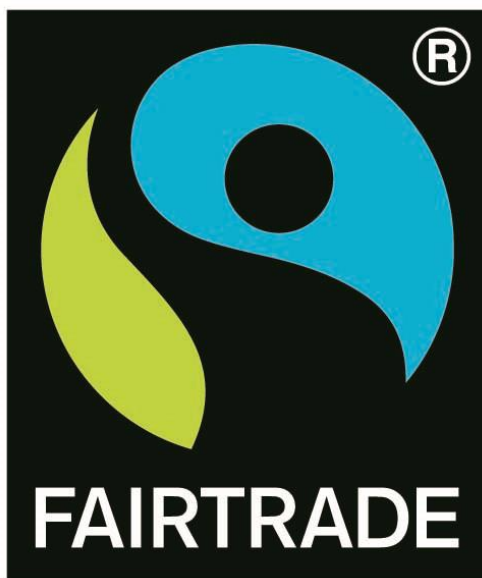
### フェアトレード - Fairtrade -

- 人と環境に配慮して生産されたものを適正な価格で取引し、持続可能な生産と生活向上を支援



### フェアトレードによる インパクト

- 適正価格の保証・プレミアムの支払
- 児童労働の禁止
- 環境に配慮した生産



## レインフォレスト・アライアンス

レインフォレスト・アライアンス認証は、農園の環境、土壌・水を含めた天然資源、生態系や生物多様性を守り、労働者の労働条件やその家族・地域社会を含めた教育・福祉などの厳しい基準を満たした農園に与えられます。

さらに、生産性向上などを研修などで推進することにより、自立した農園経営を目指します。

コーヒー、紅茶、チョコレート、バナナなどについているこの緑のカエルマークは、生産農園の持続可能性、その作物を輸入、加工する各企業の生産流通の方法やトレーサビリティが確認できる印です。





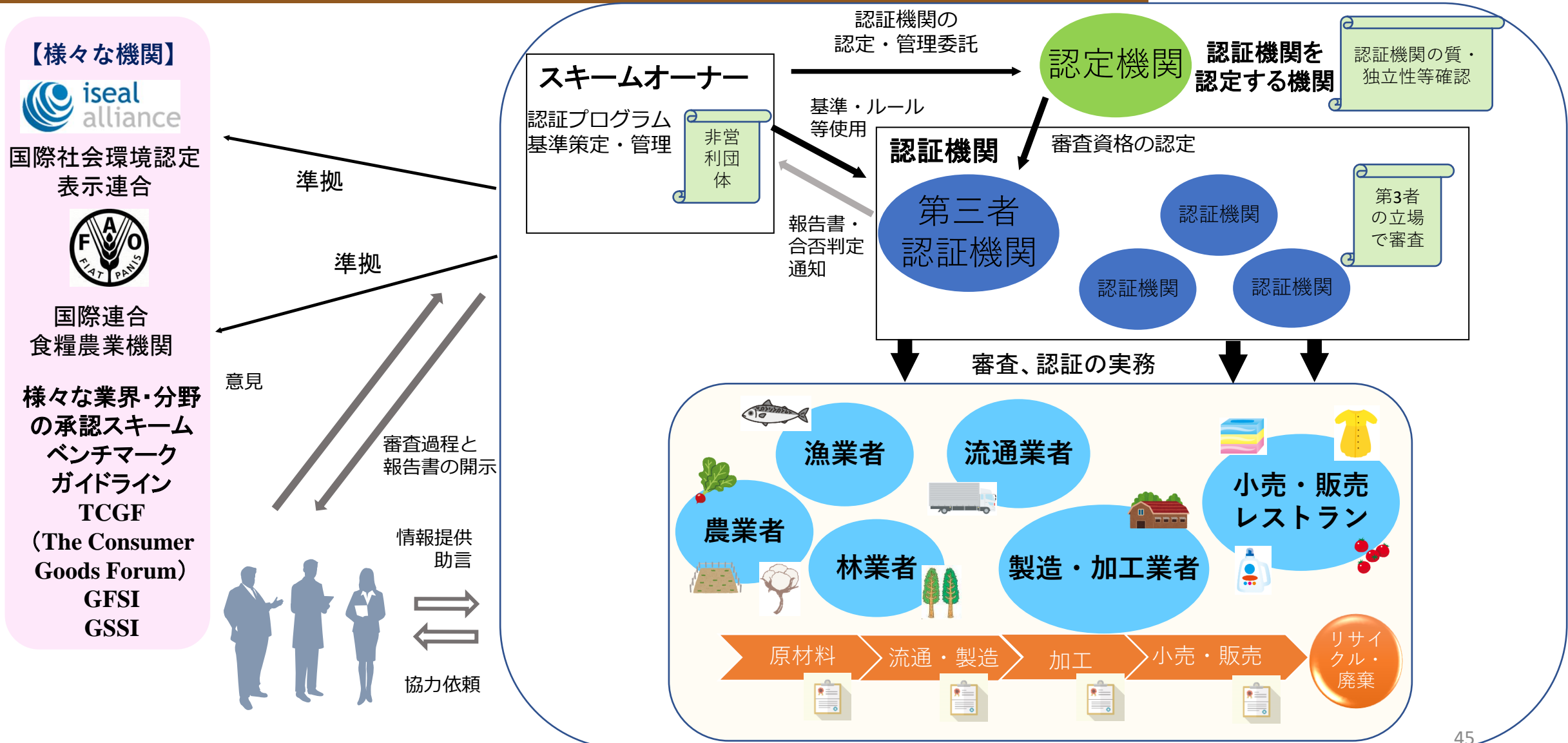
# 環境、経済、社会の3つの柱に基づいて、基準が作られる



人と自然が調和の中で繁栄する世界



# 国際認証の仕組みと透明性・信頼性







世界共通の基準の採用



FAO等、国際ガイドラインに準拠



自然環境と生物多様性の保護に貢献



多様な利害関係者の意見を反映



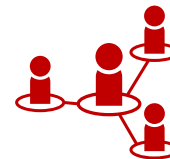
人権・地域社会に配慮



審査過程の高い透明性



科学的根拠・客観的証拠に基づいた審査



認証製品のトレーサビリティを確保

## 第3者が審査・確認しているという信頼性・透明性

認証制度は環境・社会上の問題が、  
一定水準以上改善されているかを第三者が評価する仕組み